

令和五年 二十歳のつどい

1月8日、文化センターで二十歳のつどいが開催され、195人が参加しました。

「成人式」として行っていましたが、令和4年4月から成人年齢が引き下げとなったため、名称募集の結果、「二十歳のつどい」に変更となりました。

式典では、二十歳を代表して森田大貴さんに記念品が贈呈され、柴崎悠さんが「二十歳の節目に一人一人が改めて自分自身の生き方と向き合い、これからの生活に向けて決意を新たにしていきます。」と謝辞を述べました。また、来賓受け付けや案内、司会を務めた吉中ボランティア、記念演奏を披露した上州吉岡船尾太鼓や吉中合唱部など多くの人が晴れやかな門出を祝いました。式典後のアトラクションでは、元吉中生徒会役員による思い出ムービーの上映が行われました。



記念品を受け取る森田さん



謝辞を述べる柴崎さん



恩師代表 林先生からの激励のことは



上州吉岡船尾太鼓による記念演奏



元吉中生徒会役員による思い出ムービーの上映



吉中合唱部が歌でお祝い



吉中ボランティアも大活躍

